

資料提供(投げ込み) 令和4年1月4日(火)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
消防本部 予防課 (電話059-254-0356)	予防担当参事(兼)予防課長 (兼)違反指導担当副参事 伊野 匠

令和3年の火災・救急・救助概況について(速報)

令和3年中の津市内における火災・救急・救助概況の速報は、下記のとおりでした。(令和3年中の数値は速報値となります。)

記

1 火災(担当: 予防課違反指導担当/電話059-254-0356)

令和3年中に市内で発生した火災は93件で、そのうち住宅火災は29件でした。また、火災による死者は6人で、住宅火災による死者は5人でした。

火災原因については、全体では「たき火」、「放火の疑い」、「たばこ、火入れ」の順に多く、住宅火災では、「ストーブ」が最も多く、続いて「たばこ、配線器具」でした。

これを踏まえ、放火対策やたき火からの延焼、ストーブの取扱い、寝たばこ、たこ足配線など、注意すれば防げる火災を起こさないように広報紙やイベント等、機会を捉えて広報するとともに、住宅火災で亡くなる人の多くは高齢者であることから、逃げ遅れによる死傷者を無くすために、住宅用火災警報器の設置及び維持管理について普及啓発に努めていきます。

(1) 火災概況

▲は減を示す

区 分		令和3年	令和2年	増減
火災件数合計(件)		93	103	▲10
火災 種別 (件)	建物火災	43	43	0
	(内)住宅火災	29	27	2
	林野火災	3	3	0
	車両火災	11	12	▲1
	その他の火災	36	45	▲9
死 者(人)		6	5	1
(内)住宅火災		5	4	1
負 傷 者(人)		3	5	▲2

(2) 参考（平成24年以降の年間火災件数）

年	件数
令和3年	93
令和2年	103
令和元年	115
平成30年	135
平成29年	121
平成28年	112
平成27年	117
平成26年	122
平成25年	168
平成24年	127

2 救急（担当：消防救急課救急担当／電話059-254-1600）

令和3年中の市内における救急出動件数は14,671件で、前年と比較して429件増加しました。

種別（その他を除く）で見ると、例年同様急病が9,500件と最も多く、次いで一般負傷の2,435件、交通事故の921件の順となっています。

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出の自粛により、救急出動件数が減少傾向にありましたが、令和3年に入って新しい生活様式を実践しながら徐々に日常を取り戻しはじめたこともあり、昨年と比べると増加しました。

現在、新型コロナウイルス感染症第5波は収束しましたが、第6波に備えて引き続き感染対策に努めましょう。

(1) 救急概況

▲は減を示す

区 分	令和3年	令和2年	増減
出動件数（件）	14,671	14,242	429
搬送件数（件）	12,931	12,866	65
不搬送件数（件）	1,740	1,376	364
搬送人員（人）	13,003	12,953	50

(2) 救急種別件数

（単位：件）▲は減を示す

種 別	令和3年	令和2年	増減
火 災	5	7	▲2
自然災害	0	0	0
水 難	10	9	1
交通事故	921	934	▲13
労働災害	128	127	1
運動競技	61	26	35
一般負傷	2,435	2,462	▲27
加 害	41	47	▲6
自損行為	134	88	46
急 病	9,500	9,185	315
そ の 他	1,436	1,357	79
合 計	14,671	14,242	429

(3) 参考（平成24年以降の年間救急出動件数）

年	件数
令和3年	14,671
令和2年	14,242
令和元年	15,899
平成30年	16,445
平成29年	14,901
平成28年	14,716
平成27年	14,306
平成26年	14,229
平成25年	14,196
平成24年	13,849

3 救助（担当：消防救急課消防救助担当／電話059-254-1601）

令和3年中の市内における救助出動件数は187件で、前年に比べ38件増加しました。

種別で見ると、最も多かったのが交通事故の89件で、これは全体の48パーセントを占め、過去数年で最も多い割合となっています。

また、建物等による事故は、全国的にも増加傾向にあり、市内でも51件発生、交通事故に次いで2番目に多い件数となっています。

建物等による事故の原因の多くは、「高齢者が建物内に居られるが、外からの呼びかけに応答がない。」（安否が確認できない）というものでした。

(1) 救助概況

▲は減を示す

区 分	令和3年	令和2年	増減
出動件数（件）	187	149	38
活動件数（件）	132	85	47
救助人員（人）	120	86	34

(2) 救助種別件数

（単位：件） ▲は減を示す

種 別	令和3年	令和2年	増減
火 災	3	0	3
交通事故	89	66	23
水難事故	6	7	▲1
風水害等自然事故	0	0	0
機械による事故	1	1	0
建物等による事故	51	49	2
ガス及び酸欠事故	0	1	▲1
破裂事故	0	0	0
その他の事故	37	25	12
(内) 山岳	8	11	▲3
合 計	187	149	38

(3) 参考（平成24年以降の年間救助出動件数）

年	件数
令和3年	187
令和2年	149
令和元年	187
平成30年	138
平成29年	129
平成28年	137
平成27年	105
平成26年	126
平成25年	130
平成24年	113